

発行 日本金融・証券計量・工学学会 (JAFEE) The Japanese Association of Financial Econometrics & Engineering

編集責任 小暮 厚之 高山 俊則 中妻 照雄

銀行口座 さくら銀行国立(くにたち)支店 (普通) 6837615 口座名 ジャフィー

郵便口座 口座番号 00120-4-146874 口座名 ジャフィー

事務局 〒980-8576 宮城県仙台市川内 東北大学大学院経済学研究科 佃 良彦研究室

TEL 022-217-6302 (直通) FAX 022-217-6327 (学部共通) E-mail: office@jafee.gr.jp

目次

1. 第14回ジャフィー大会のお知らせ
 2. ジャフィーの新Webページについて
 3. 第4回コロンビア大学 = ジャフィー金融工学国際会議のお知らせ
 4. 1999年度決算(案)ならびに2000年度予算(案)について
 5. コロンビア大学 Mathematics of Finance コース留学へのジャフィー推薦について
 6. 2000年度会費納入のお願い
 7. 学会誌論文の募集
 8. 会員による新刊書の案内
 9. 第13回ジャフィー大会の報告
 10. 事務局からのお知らせ
 11. 新入会員・会員住所変更等のお知らせ
 12. 会則
- 別紙 会員募集の案内

1. 第14回ジャフィー大会のお知らせ

第14回ジャフィー大会が下記の要領で行われます。

- (1) 日時: 1999年6月30日(金)~7月1日(土)
場所: 一橋大学大学院国際企業戦略研究科
詳細は、同封のプログラムを参照してください。
- (2) 懇親会
6月30日(金)午後5時から学術総合研究センター3階喫茶室で懇親会を予定しております。会費は4,000円の予定です。同封のFAX申込書にて申込み下さい。
- (3) 理事会・評議員会
6月30日(金)正午12時から理事・評議員会を開催します。関係者の方は、お集まり下さい。

(4) 大会参加費の徴収

95 年度 12 月の総会で決定されましたように、参加費を徴収することになりました。個人会員は 3,000 円、学生会員は 1,000 円、法人会員は 1 社につき 3 名までは無料ですが、それ以上は 1 名につき 3,000 円です、また、非会員は 5,000 円です。プロシーディング（大会紀要：発表論文をまとめたもの）の費用は、大会参加費に含まれていますので、参加者には無料で配布されます。ただし、法人会員には大会後一部無料で送付致します。大会に出席できない会員でプロシーディングを購入希望の方は、2,000 円（郵送料を含む）をさくら銀行国立（くにたち）支店、口座名ジャフィー、口座番号（普）6 8 3 7 6 1 5、もしくは郵便振替口座、口座名ジャフィー、口座番号 0 0 1 2 0 - 4 - 1 4 6 8 7 4 にお振込み下さい。

(5) 英文学会誌の頒布

英文学会誌が、大会当日、一部 1,500 円で頒布されます。会員には一部無料で送付いたします。大会に出席できない会員で本学会誌を購入希望の方は、1,800 円（郵送料を含む）をさくら銀行国立（くにたち）支店、口座名ジャフィー、口座番号（普）6 8 3 7 6 1 5、もしくは郵便振替口座、口座名ジャフィー、口座番号 0 0 1 2 0 - 4 - 1 4 6 8 7 4 にお振り込み下さい。また同封の申込用紙を FAX もしくは郵送下さい。

2 . ジャフィーの新 Web ページについて

ジャフィーの Web ページを移動しました。新しい URL は、

<http://www.jafee.gr.jp>

です。これに合わせて、事務局宛のメールアドレスも次のとおり変更しました。

E-mail: office@jafee.gr.jp

なお、事務局の連絡先は以下のとおりです。ファックスにて連絡される場合には、ジャフィー事務局宛と明記して下さい。

事務局：佃 良彦研究室

〒980-8576 宮城県仙台市川内 東北大学大学院経済学研究科

連絡先：TEL: 022-217-6302（直通） FAX: 022-217-6327（学部共通）

3 . 第 4 回コロンビア大学 = ジャフィー金融工学国際会議のお知らせ

第 4 回コロンビア大学 = ジャフィー金融工学国際会議が来る 12 月 16 日、17 日に日本で行われます。詳細につきましては同封のご案内を参照してください。

4 . 1999 年度決算（案）ならびに 2000 年度予算（案）について

6 月 30 日に開催される通常総会で、1999 年度決算案と 2000 年度予算案が審議されます。本案は同日開催される評議員会で承認されてから通常総会に諮られます。

(1) 1999 年度会計決算案

	予算額(円)	実績額(円)	備 考
前年度繰越金	9,767,433	9,767,433	
会費・入会金	7,000,000	6,654,000	
JIC99収入	3,119,191	3,119,191	
第12回国内大会	230,000	230,000	98年度分。広告料等請求遅延のため99年度入金。
第13回国内大会	1,000,000	379,600	広告料など請求遅延で含まれず。
雑収入	100,000	227,221	英文誌・予稿集バックナンバー売上、利息等。
合 計	21,216,624	20,377,445	

	予算額(円)	実績額(円)	備 考
印刷費	1,000,000	1,699,765	封筒、会報、国際大会予稿集等。
JIC99開催費	1,897,387	1,897,387	予稿集等の印刷費を含まず。
第13回国内大会開催費	1,000,000	1,276,323	予稿集等の印刷費を含む。
英文誌作成費	2,200,000	319,142	Kluwer宛支払いは、2000年4月のため計上せず。
和文誌作成費	1,700,000	1,500,000	
コロンビア＝ジャフィー関係 支出	100,000	0	
広告費	450,000	81,270	
名簿発行費	1,400,000	0	名簿発行は、2000年度に延期。
通信連絡費	500,000	110,260	
人件費	800,000	619,920	
雑費(含む会議費)	1,000,000	725,519	
予備費	9,169,237	0	
次年度繰越		12,147,859	
合 計	21,216,624	20,377,445	

2000年3月31日時点残高内訳 (円)	
さくら銀行国立支店	9,349,825
七十七銀行	146,399
郵便振替口座	1,162,715
郵便貯金口座	1,345,805
事務局小口現金	143,115
合計	12,147,859

会計監査報告書

会則 14 条に基づき、1999 年 4 月 1 日より 2000 年 3 月 31 日までの会計経理を監査した結果、会計報告の通り相違ないことを認めます。

幹 事

前川 功一

大野 三郎

平成 12 年 5 月 20 日

(2) JIC99 収支明細 (1999 年 8 月 28・29 日、早稲田大学)

収入の部			件数	小計 (円)	
参加費	事前割引	学生 (8,000)	6	48,000	
		個人 (10,000)	30	300,000	
正規料金		法人・非会員 (15,000)	18	270,000	
		学生 (10,000)	11	110,000	
		個人 (12,000)	30	360,000	
		法人・非会員 (17,000)	20	340,000	
		協賛	50,000	14	700,000
		展示	150,000	3	450,000
広告		20,000	7	140,000	
早稲田大学補助金		大会60,000+懇親会60,000		120,000	
懇親会費		5,000	41	205,000	
弁当代		1,000	34	34,000	
予稿集 (参加者以外)		6,000	7	42,000	
受取利息				191	
合計				3,119,191	

支出の部		
会場費		446,775
通訳		459,900
懇親会		250,000
ゲストスピーカー謝礼		300,000
人件費		250,000
雑費		122,035
弁当代		64,375
振込手数料		4,302
合計		1,897,387

(3) 第 1 3 回国内大会収支明細 (1999 年 12 月 15・16 日、東京大学)

収入の部		(円)
参加費		246,000
懇親会費		133,600
合計		379,600
支出の部		
会場費		130,398
人件費		104,400
懇親会費		188,895
雑費		76,323
合計		500,016
予稿集・プログラム印刷費		776,307
上記含む合計		1,276,323

(4) 2000 年度予算 (案)

収 入	予算額(円)	備 考
前年度繰越金	12,147,859	
会費・入会金	7,000,000	
第14回国内大会	500,000	参加費、懇親会費、出展料等
第4回コロンビア大学=ジャフイー 金融工学国際会議	3,000,000	参加費、懇親会費、協賛金、出展料等
雑収入	300,000	予稿集・英文誌売上、利息等
合計	22,947,859	

支 出	予算額(円)	備 考
印刷費	3,000,000	封筒、会報、予稿集等
第13回国内大会開催費	500,000	
第4回コロンビア大学=ジャフイー 金融工学国際会議	3,000,000	
英文誌作成費	4,000,000	1999年度分の支払い(4月振り込み)を含む。
和文誌作成費	1,500,000	
広告費	400,000	インターネット利用料金を含む。
名簿発行費	1,400,000	2,000円×700
通信連絡費	500,000	
人件費	1,000,000	
雑費(含む会議費)	1,000,000	
予備費	6,647,859	
合計	22,947,859	

5 . コロンビア大学 Mathematics of Finance コース留学へのジャフィー推薦について

コロンビア大学の数学部に設置された Mathematics of Finance コースに留学を希望される方で、ジャフィーからの推薦を希望される方は、履歴書と業績、実績等参考資料を添えて、以下宛までお送り下さい。語学等が若干低くてもフィナンシャル・エンジニアリングの素養、実績等がある場合考慮されるとのことです。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済研究所 金融工学研究センター 刈屋 武昭
Tel: 075-753-7171、Fax: 075-753-7178、E-mail: kariya@kier.kyoto-u.ac.jp

6 . 2000 年度会費納入のお願い

2000 年度の会費を下記の口座にお振込み下さい。なお、請求書、領収証が必要な方は事務局までその旨を郵送または FAX して下さい。関東地域の個人正会員は 10,000 円、それ以外の地域の個人正会員は 6,000 円です。なお、振り込みに当たっては所属先でなく氏名を先にインプットして下さい。

さくら銀行国立(くにたち)支店 口座名 ジャフィー (普) 6 8 3 7 6 1 5
もしくは

郵便振替口座 口座名 ジャフィー 口座番号 0 0 1 2 0 - 4 - 1 4 6 8 7 4
です。上記のさくら銀行国立支店の口座と郵便為替口座以外には、お振り込みになりませんよう、よろしく願いいたします。

7 . 学会誌論文の募集

(1) 日本語の学会誌 ジャフィー・ジャーナル

日本語の学会誌ジャフィー・ジャーナル第 3 号が発行されました。会員の皆様の手元に届いたと思います。つきましては、会員皆様からの投稿を英文誌同様に期待します。論文は未発表であることが望ましいが、大学紀要や社内誌等に発表したもの改訂したものでもかまいません。既発表の論文を改訂したものについては、発表雑誌と年次ならびにその論文のコピーを提示して下さい。すべての論文は審査されます。論文の投稿先は次のとおりです。

〒186-8601 国立市中 2-1 一橋大学大学経済学部 高橋 一
Tel : 042-580-8788 (E.3416) e-mail : hajime@stat.hit-u.ac.jp

(2) 英語の学会誌 Asia-Pacific Financial Markets

Asia-Pacific Financial Markets (APFM) は、旧タイトル (Financial Engineering and the Japanese Markets、FEJM と略) から通算で第 6 巻に入り頁数を増やし、年当たり 4 号印刷にするとともに、学会員への配布も開始しました。海外からの投稿は、刈屋前編集長の尽力で増加しておりますが、会員皆様からの投稿を期待します。奮って投稿ください。すべての論文は審査され、審査基準は、日本語の学会誌より高くなります。論文の投稿先は次のとおりです。

8 . 会員による新刊書の案内

『金融経済学の基礎』

池田 昌幸著
朝倉書店、2000年2月刊

本書を手にして読み始めると、まえがきの冒頭に「本書の目的は、不確実性下の消費者の資産選択行動と金融資産市場の価格形成および配分機能にかんする金融経済学 (financial economics) の主要な結果について解説し、その論理構造を明らかにすること」とある。それに続いて「本書が対象とする読者は...金融経済学の基礎的知識を習得し、今後この分野を専門として研究を志す学部上級および大学院生であるが、すでに金融実務に就かれておりこの分野の最近の研究動向に興味を持つ社会人の方々にも参考になるものと思われる。」とある。

これはあまりにも教科書的なものを買ってしまったか、との後悔の念が一瞬頭をよぎったものの、それでも気を取り直して読みつづけると「本書は約束した原稿の締切にじつに 4 年以上遅れたが、...」という記述である。本書は「ファイナンス講座」全 8 巻のシリーズの第 2 巻である。しかも、第 6 巻までが先に発刊されている。シリーズもので 4 年以上の締切破りをするとはすごいと驚き、また 4 年以上待ってでも発刊するとは更にすごいと感心し、本書に対する期待が改めて高まったのであった。

いざ本文へと読み進むと、確かにおもしろい。本書は「第 1 章 不確実性と危険選好」、「第 2 章 平均分散分析と資本資産価格モデル」、「第 3 章 平均分散分析の拡張」、「第 4 章 完備市場における価格付け」、「第 5 章 効率的ポートフォリオとポートフォリオの分離」、「第 6 章 因子モデルと線形価格付け理論」、「第 7 章 代表的消費者の合成と経済厚生」、「第 8 章 確率的割引ファクターと価格付け理論のまとめ」からなっているが、これは「研究を志す読者を想定」した教科書として「お約束通りの章立て」ともいえる。それにもかかわらず、(教科書とされることを意識してはいるが)教科書的な本にありがちな「つまらなさ」が感じられない。書名と目次から持ってしまう期待(先入観)が、嬉しいことに裏切られるのである。それぞれの章と章が生き活きとしたつながりをみせ、最後まで一気に読んでしまうほどのおもしろさがある。

このおもしろさの源は「主要な結果について解説し、その論理構造を明らかにすること」のうちの後半部分、「論理構造を明らかにすること」に著者が重点を置き、また論理構造という観点から「主要な結果」が整理紹介されているところにあると考える。このことにより、まさしく「上級のテキストと入門レベルの橋渡し」の役割を果たし得るものとなったのではないであろうか。金融経済を専門分野として志す方や、この分野にもともと興味を持っている方だけでなく、金融実務界でフィナンシャル・エンジニアとして日々の開発業務に追われているの方々にも一度は読んでいただきたい本である。

(エスジー山一アセットマネジメント 大野 三郎)

9 . 第 13 回ジャフィー大会の報告

日本金融・証券計量・工学学会（ジャフィー）第 13 回大会が昨年 12 月 17 日（金）・18 日（土）に東京大学大学院数理科学研究科（駒場キャンパス）にて開催され、研究報告会・総会・懇親会が滞りなく行われました。

9 1 . 総会・理事会・評議員会の報告

総会は大会初日（12 月 17 日）に開催されました。総会に先立ち、理事会・評議員会が合同で開催され、総会に提出するための議案を審議しました。総会では次の案件が審議・報告されました。

審議案件

1998 年度の決算収支が報告され、原案通り全会一致で決算案が承認されました。

報告案件

（ 1 ）2000 年度夏季大会について

2000 年 6 月 30 日（金）、7 月 1 日（土）に、2000 年度夏季大会を一橋大学にて開催することはすでに決まっておりましたが、具体的な場所につきまして、佐野書院か新大学院（国際企業戦略研究科、ICS：神田一ツ橋、旧一橋講堂跡）のどちらとするかが未確定である旨、報告されました。

（注：2000 年度夏季大会は、一橋大学国際企業戦略研究科で行います。詳しくは同封のプログラムをご参照ください。）

（ 2 ）第 4 回コロンビア＝ジャフィー金融工学国際会議について

第 4 回コロンビア＝ジャフィー金融工学国際会議を 2000 年 12 月 15 日、16 日に開催する予定で準備を進めている旨、報告されました。

（ 3 ）名簿作成について

名簿を新しく作成し、会員への配布に向けて準備作業中である旨、報告されました。

9 2 . 研究報告会

田辺隆人氏によるチュートリアルを含め、延べ 9 セッション、22 テーマの報告が行われました。協賛を頂きました SAS インスティテュートジャパンならびに株式会社数理システムに感謝の意を表します。発表者名ならびに発表テーマは次の通りです。

12 月 17 日（金）

銀行評価

座長： 枇々木 規雄（慶應義塾大学）

- (1) DEA で分析した巨大提携も含む銀行の効率性について
高橋 智彦（日本生命、筑波大学）

- (2) 主成分分析を利用した次元縮小によるリスクコントロールについての一考察 (II)
西山 昇 (朝日ライフアセットマネジメント、東京工業大学)

資産運用

座長： 葛山 康典 (早稲田大学)

- (3) Utilization of Neural Networks & Gas for Constructing Reliable Decision Support Systems to Deal Stocks
馬場 則夫 (大阪教育大学) 井上 直行 (大阪教育大学) 浅川 寛之 (大阪教育大学)
- (4) 予測と運用評価
北村 智紀 (太陽投信委託)
- (5) 戦略的資産配分問題に対する多期間確率計画モデル
枇々木 規雄 (慶應義塾大学)

チュートリアル

座長： 鈴木 賢一 (東北大学)

- (6) 金融工学と数理計画法
田辺 隆人 (数理システム)

信用リスク

座長： 白川 浩 (東京工業大学)

- (7) ポートフォリオ制御アプローチによる信用リスク制御手法の検討
久保 理 (日立製作所) 横田 毅 (日立製作所) 小林 康弘 (日立製作所)
- (8) ダウングレード・プロテクションの評価モデル
青沼 君明 (東京三菱銀行、東京大学)
- (9) A Markov Chain Model with Stochastic Default Rate for Valuation of Credit Spreads
小寺 英司 (東洋信託銀行)
- (10) K-th to Default Swaps
高田 勝己 (さくら銀行)

12月18日 (土)

金融市場取引

座長： 小暮 厚之 (千葉大学)

- (11) 短期金融市場における金利裁定 - 日本銀行の金融政策波及経路の再検討 -
TEE KIAN HENG (広島大学) 鄭 燕 (広島大学)
- (12) The Effect of Losing Homogeneity to the Yield Curve
山田 雅章 (東海インターナショナル証券)
- (13) VWAP 取引の分割発注
小西 秀 (東京三菱証券)
- (14) 深刻な非同時取引下における回帰モデルのベイズ分析
高山 俊則 (エスジー山一アセットマネジメント)

オプション価格付け

座長： 青沼 君明 (東京三菱銀行)

- (15) Computer Simulation of [Geometric Levy Process & MEMM] Pricing Model
肖凱 (名古屋市立大学) 宮原 孝夫 (名古屋市立大学) 三澤 哲也 (名古屋市立大学)

- (16) 一般化 2 項モデルとその確率測度
宮下 景樹（法政大学） 山本 将紀（法政大学） 浦谷 規（法政大学）
- (17) HJM モデルにおける短期金利プロセス
大石 良則（法政大学） 浦谷 規（法政大学）

会長講演

- 司会： 森平 爽一郎（慶應義塾大学）
- (18) Modelling the Stock Returns and Trading Volumes
佃 良彦（東北大学）

アセット・プライシング

- 座長： 津田 博史（ニッセイ基礎研究所）
- (19) Explanations of “Good” Performance of the Consumption CAPM with the Japanese Data
祝迫得夫（筑波大学）
 - (20) Data-Snooping Biases in Tests of Financial Asset Pricing Models: A Japanese Case
程島 次郎（名古屋市立大学） XAVIER GARZA-GOMEZ（名古屋市立大学）

金融技術の新展開

- 座長： 三浦 良造（一橋大学）
- (21) 新リバース・モーゲージの評価モデル
青沼 君明（東京三菱銀行、東京大学） 村内 佳子（東京三菱銀行）
 - (22) 気温デリバティブスの評価と企業財務ヘッジ効果
佐藤 賢一（慶應義塾大学） 森平 爽一郎（慶應義塾大学）

10．事務局からのお知らせ

会費未納の請求

1999 年度会費を未納の方は、なるべく早く振り込まれることをお願いします。会費をジャフィーの銀行口座もしくは郵便振替口座に振り込まれる際に、大学、会社名よりも個人の名前を先にインプットしてください。

11．新入会員・会員住所変更等のお知らせ

12．日本金融・証券計量・工学学会（ジャフィー）会則

1. 本学会は、日本金融・証券計量・工学学会と称する。英語名は The Japanese Association of Financial Econometrics & Engineering とする。略称をジャフィー（英語名：JAFEE）とする。本学会の設立趣意は次のとおりである。

「設立趣意」日本金融・証券計量・工学学会（ジャフィー）は、広い意味での金融資産価格や実際の金融的意思決定に関わる実証的領域を研究対象とし、産学官にわたる多くのこの領域の研究・分析者が自由闊達な意見交換、情報交換、研究交流および研究発表するための学術的組織とする。特に、その設立の基本的な狙いは、フィナンシャル・エンジニアリング、インベストメント・テクノロジー、クウォンツ、理財工学、ポートフォリオ計量分析、ALM、アセット・アロ

ケーション、派生証券分析、ファンダメンタルズ分析等の領域に関係する産学官の研究・分析者が、それぞれの立場から個人ベースでリベラルな相互交流できる場を形成し、それを通じてこの領域を学術的領域として一層発展させ、国際的水準に高めることにある。

組織は個人会員が基本であり、参加資格はこの領域に興味を持ち、設立趣意に賛同する者とする。運営組織は、リベラルかつ民主的なものとする。

2. 本学会は、設立趣意の目的を達成するために、次の事業を行う。
 - (1) 研究発表会、その他学術的会合の開催。
 - (2) 会員の研究成果の公刊。
 - (3) その他本学会の目的を達成するための適切な事業
3. 本学会は、個人会員と法人会員からなる。参加資格は、本学会の設立趣旨に賛同するものとする。個人会員は、正会員、学生会員および名誉会員からなる。法人会員は口数で加入し、1 法人 1 部局（機関）2 口までとする。
4. 個人正会員は、日本金融・証券計量・工学学会誌（和文会誌）の配布を無料で受ける。学生会員は有料とし、その価格を附則で定める。また個人正会員、学生会員は本学会の催す諸種の学術的会合に参加することができる。法人会員は、1 口の場合個人正会員 3 名分、2 口の場合 5 名分の特典を与えられる。英文会誌 Asia-Pacific Financial Markets については、個人正会員については無料とする。法人会員には 1 口あたり 1 部無料で配布される。本学会が定期・非定期に催す国際的学術会合については、個人正会員、学生会員、法人会員とも原則有料とし、その料金は予め個人正会員、学生会員、法人会員に通知され、会計報告によって会員の承認を得るものとする。
5. 学生会員および法人会員は、選挙権および被選挙権をもたない。
6. 入会にあたっては、入会金およびその年度の会費を納めなければならない。
7. 会員は年会費として、個人正会員の場合、関東地域（東京都、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県、山梨県、神奈川県）に連絡先住所がある会員は、10,000 円、その他の地域に連絡先住所がある会員は、6,000 円とする。学生会員の年会費は 2,500 円とする。法人会員の年会費は、1 口 70,000 円、2 口は 100,000 円とする。入会金は、個人正会員は 2,000 円、学生会員は 500 円、法人会員は 1 口 10,000 円とする。会費を 3 年以上滞納したものは、退会したものとみなすことがある。
8. 正会員であって、本学会もしくは本学界に大きな貢献のあったものは、総会の承認を得て名誉会員とすることができる。その細則は別に定める。
9. 本会に次の役員をおく。役員は個人正会員に限る。
会長 1 名、副会長 2 名以内、評議員 20 名、理事若干名、監事 2 名
評議員は原則として学界 10 名、産業界および官界 10 名とし、1 法人（機関）1 部局あたり 1 名までとする。
10. 評議員は、正会員の中から互選する。評議員は、評議員会を組織して会務を審議する。
11. 理事は、会長が推薦し、総会が承認する。ただし、会誌編集理事（エディター）は評議員会の承認を得て総会が選出する。理事は会長、副会長とともに第 2 条に規定する会務を執行する。理事は次の会務の分担をする。

庶務、会計、渉外、広報、会誌編集、大会開催、研究報告会のプログラム編成、その他評議員会で必要と議決された事務。

12. 会長は選挙によって定める。会長は、本学会を代表し、評議員会の議長となる。会長は第 10 条の規定にかかわらず評議員となる。会長は(1)評議員会の推薦した候補者、(2)20 名以上の個人正会員の推薦を受けた候補者、もしくは(3)その他の個人正会員、の中から選出する。(1)(2)の候補者については、本人の同意を必要とする。(1)(2)の候補者については経歴・業績等の個人情報公開するものとする。
 13. 副会長は、会長が推薦し、総会が承認する。副会長は、評議員会に出席し、会長を補佐する。
 14. 監事は、評議員会が会長、副会長、理事以外の正会員から選出する。監事は会計監査を行う。
 15. 本学会の役員任期は、原則 2 年とする。ただし、連続する任期の全期間は会長は 4 年を超えないものとする。なお、英文会誌編集担当理事（エディター）の任期は附則で定める。
 16. 評議員会は、評議員会議長が必要と認めたときに招集する。また、評議員の 1/2 以上が評議員会の開催を評議員会議長にこれを要求したときは、議長はこれを招集しなければならない。
 17. 総会は会長が招集する。通常総会は、年 1 回開く。評議員会が必要と認めたときは、臨時総会を開くことができる。正会員の 1/4 以上が、署名によって臨時総会の開催を要求したときは、会長はこれを開催しなければならない。
 18. 総会の議決は、出席者の過半数による。
 19. 次の事項は、通常総会に提出して承認を受けなければならない。
 - (1) 事業計画および収支予算
 - (2) 事業報告および収支決算
 - (3) 会則に定められた承認事項や決定事項
 - (4) その他評議員会で総会提出が議決された事項
 20. 本学会は、会務に関する各種の委員会をおくことができる。各種委員会の運営は、別に定める規定による。
 21. 本学会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、3 月 31 日に終わる。
 22. 本学会の運営に関する細則は別に定める。
 23. 本会則の変更は、評議員会の議決を経て、総会が決定する。
- 附則
1. 英文会誌編集担当理事（エディター）の任期は 5 年とする。
 2. 学生会員の和文会誌は、東洋経済新報社からの購入価格とする。

